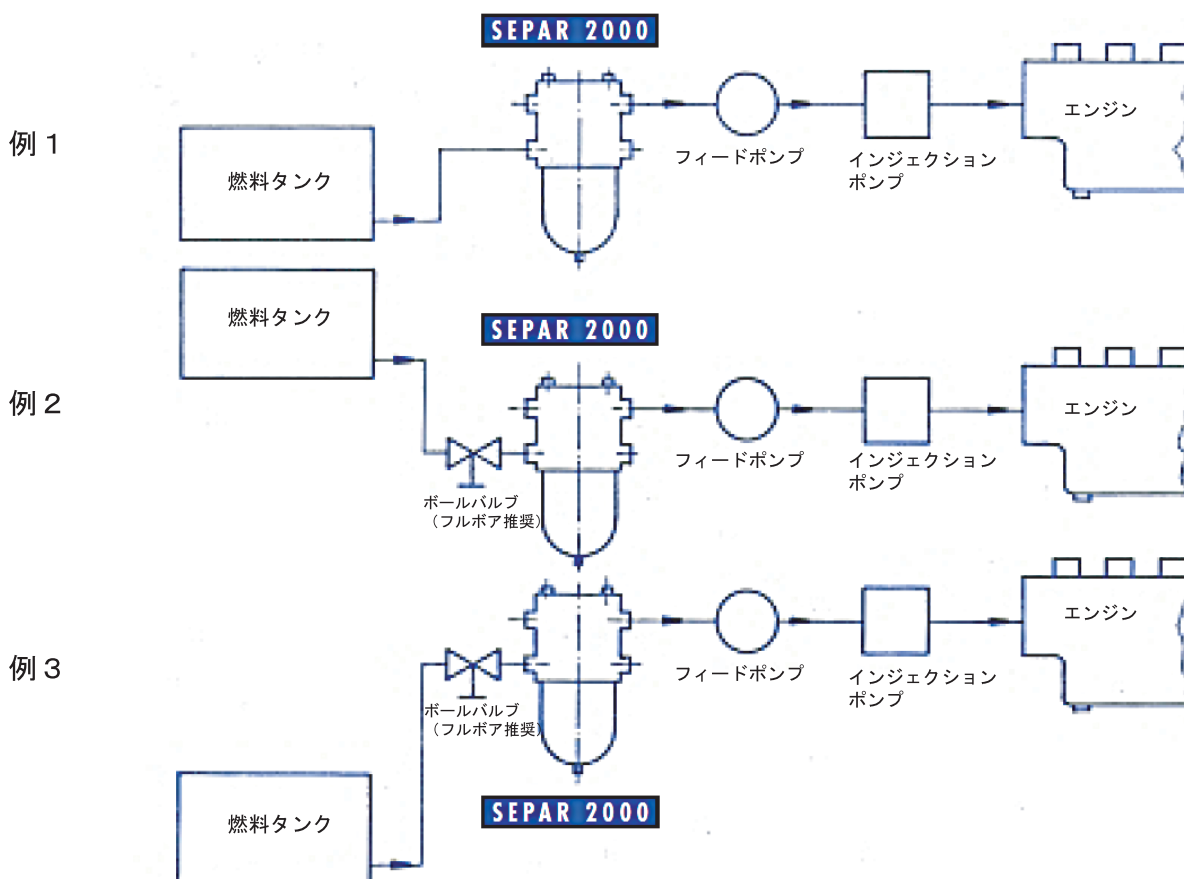


■インストールマニュアル

セパ2000フィルターは燃料ラインのサクション側に設置します。
 フューエルタンクとフューエルフィードポンプの間です。

- フィルター下部から水とコンタミをドレンでき、内部エレメントを上部から交換することができる場所に設置してください。エレメント交換には60mm以上の上部スペースが必要です。
- フィルターの接続口は、IN・OUT共に左右に1つずつあります。
 設置場所に合わせ、メクラ栓を付け替えて下さい。(EIN・AUSはドイツ語表記)
- フィルターの理想的な設置場所は、フィードポンプと同じ高さです。(例1)
 もし、燃料タンク液面よりフィルター上部が低い位置にきた場合、メンテナンス時にタンクからの燃料が流出する為、セパ2000の前(タンク側)にフルボアのボールバルブを設置しなければなりません。(例2)
- 燃料タンク液面よりもフィルターが高い位置にある場合は、メンテナンス時にタンクへの逆流を防ぐ為に、ボールバルブを設置するほうが望ましいです。(例3)
 (メンテナンスマニュアルの燃料供給バルブがこれにあたります)
- 高さの関係が不明な場合は、ボールバルブを設置するのが確実です。
- セパ2000の設置後、自然に燃料で満たされない場合は、フィルター上部のカバーを外し燃料を入れて下さい。またエンジンのマニュアルに従ってエア抜きして下さい。
- 燃料パイプ内径がつぶれ、流入抵抗の増加の原因になりますので、90度以上の鋭角な配管はしないで下さい
- すべてのネジがきつく締まっていて、漏れがないことを確認して下さい。



■メンテナンスマニュアル

圧力損失が過大になった場合もしくは、分離水がフルになった場合は
フィルタエレメントの逆洗および、水・コンタミのドレンのメンテナンスを行います。

- ①かならずエンジンを切るか、デュアルユニットの場合はもう一方に切り替えます。
- ②燃料供給バルブを閉じます。（設置されている場合）
- ③カバーについているブリーザスクリーを緩めて下さい。
- ④ドレンコックを開き、分離された水とコンタミを排出します。そしてドレンコックを閉じます。
- ⑤燃料タンク液面がフィルターより上にある場合は、燃料供給バルブを開き
フィルター内部を新しい燃料で満たしたのち、ブリーザスクリーを締めて下さい。
そうでない場合は、ブリーザスクリーを締めたのち、上部カバーを開け燃料を補充するか、
エンジンのマニュアルに従って、燃料系統のエア抜きを行って下さい。

上記の手順によって、内部エレメントは逆洗され、エレメントの寿命が延びます。
さらに詳細な手順は、写真入りのバックフラッシュ/ドレン作業マニュアルを参照して下さい。

エレメントの寿命は、逆洗を行っても圧力損失が復帰しなくなった場合や、それに伴いエンジンの回転
数が上がらなくなった場合、または**一年間**です。

重要：クリアボウルを清掃する場合は、きれいな**軽油だけ**を使用して下さい。
その他の洗浄液・溶剤などを使用した場合、プラスチックが冒され、重大な事故に繋がる
恐れがあります。

■エレメント交換マニュアル

- ①かならずエンジンを切るか、デュアルユニットの場合はもう一方に切り替えます。
- ②燃料供給バルブを閉じます。（設置されている場合）
- ③カバーを固定しているネジを外します。そしてカバーを取り外します。
(EV0-10モデルは、防塵カバーを外し固定ネジを手または六角レンチにて緩めてカバーを外します)
- ④スプリングカセットを取り出します。
- ⑤エレメントを取り出します。エレメントには持ち手がついています。
(パッキンが固着して持ち手で抜き取れない場合は、ラジオペンチなどで取り出してください)
- ⑥新しいエレメントを上下に気をつけて取り付けます。（パッキン側が下）
- ⑦スプリングカセットを取り付けます。
- ⑧カバーのガスケットが正しく取り付けられているか確認し、場合によっては交換します。
- ⑨カバーが正しい位置になるよう注意して取り付け、ネジを締め復元します。
- ⑩燃料系統のエア抜きをし、各所から漏れがないか確認します。



SEPAR2000

エレメント バックフラッシュ/ドレン作業マニュアル

セパー2000のユニークさは、エレメントのバックフラッシュが可能にあります。このためメンテナンスが簡単であるとともに、交換までに通常5回のバックフラッシュが出来ますので、ランニングコストの削減が図れます。

- A - カバーナット
- B - カバー
- C - ブリーザスクリュー
- D - エレメントハウジング
- E - ボウルフランジ
- F - クリアボウル
- G - ドレンバルブ
- H - ドレンコック



ステップ.1

- エンジン ストップ
(2連型フィルターの
場合にはエンジン稼働
中に、もう一方に切り
替え)
- 燃料供給バルブを閉める
(ボールバルブ)



ステップ.2

- ブリーザスクリューを
緩めて、エレメント内壁
についたコンタミや水分を
分離させる際の負圧を
なくします。



ステップ.3

- 分離された水分や
コンタミはボウル下部
に落下する



ステップ.4

- ドレンコックを開く
(押してひねる)



ステップ.5

- ドレンバルブ下部に
回収容器を設置し、コン
タミと水分を回収する



ステップ.6

- 一旦ドレンコックを
締め、まだ内部に残留
している水分とコンタミ
をボウルに沈殿させる



ステップ.7

- 必要に応じて、ステップ
5と6を繰り返し、
ドレンコックを閉める

ステップ.8

- 燃料供給バルブを開く
- ブリーザスクリューを
締め込む

注)必ず締めて下さい。
エンジントラブルの原因
になります

